

東通村原子力発電所安全対策委員会開催 ～安全協定の運用・原子力防災の取組の状況などを報告～



会議の風景

3月22日、東通村防災センターにおいて、東通村原子力発電所安全対策委員会(会長:畑中稔朗村長)が開催されました。

この委員会は、村内の関係機関の長等により構成され、村の原子力発電所に対する対応状況の報告や確認などを行うとともに、ご意見などを伺い、村として、様々な対応をしていくために設置しているものです。

会議では、村から、東通原子力発電所東北電力1号機の安全協定の運用状況、原子力防災の取組や今後の計画、原子力災害医療の検討状況を報告し、委員の方々にご確認いただきました。

委員から、陸路避難時の渋滞や冬季間の対策、宿泊者等の一時滞在者への対応、海路避難の考え方、避難所への簡易トイレの備蓄などについてご意見等がありました。

また、東北電力(株)及び東京電力ホールディングス(株)から、それぞれの状況について説明がありました。

東北電力1号機は、運転を停止中であり、原子力規制委員会による新規制基準適合性に係る審査が継続中です。

東京電力1号機は、一部の作業を除き、工事の再開を見合わせており、新規制基準適合性に係る審査に向けて、地質調査や設計検討などが進められています。

福島第一原子力発電所事故から12年が経過しましたが、国・県・事業者においては、引き続き、原子力防災対策や安全対策について、様々な検討が進められています。

村としても、これらの状況を踏まえ、今後も、村民の安全と安心のため、全力で取り組んで参ります。



委員のご質問やご意見



東京電力HD(左)・東北電力(右)の説明

交通ルールを守り、交通事故ゼロを目指しましょう！ ～春の交通安全運動に向け、のぼり旗を設置しました～



春の全国交通安全運動(5月11日～20日)期間を前に、4月4日、小田野沢地区で交通安全のぼり旗の設置が行われました。

この取り組みは、小田野沢地区交通安全母の会、むつ地区交通指導隊東通支隊、東京電力HD(株)などの有志により行われ、小田野沢地区内の一時停止箇所やスクールバスの乗降場所等の近くにのぼり旗を設置しました。

交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけ、交通事故の防止に努めましょう。

春の全国交通安全運動

期間：令和5年5月11日(木)～5月20日(土)
交通事故死ゼロを目指す日：5月20日

重点目標

1. こどもを始めとする歩行者の安全の確保
2. 横断歩行者事故等の防止と安全運転意識の向上
3. 自転車のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底